令和６年度

学校関係者評価報告書

新潟医療福祉カレッジ

令和７年６月３日

令和６年度　学校関係者評価報告書

学校法人エイシンカレッジ
新 潟 医 療 福 祉 カ レ ッ ジ
学校関係者評価委員会

学校法人エイシンカレッジ　新潟医療福祉カレッジ　学校関係者評価委員会は、令和６年度学校自己評価の結果に基づき学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

１．基本方針

本校における学校関係者評価は、自己評価結果を基に課題を明確にし、関係者にて組織された学校関係者評価委員から意見を聞いたうえで、学校運営及び教育活動の改善を図ることを基本方針とする。

また、公表については「新潟医療福祉カレッジ 学校評価実施規定」に則り実施するものとする。

２．開催日時及び場所

日時：令和７年６月２日（月）　14:00～15:30

場所：新潟医療福祉カレッジ１号館 202 教室

３．出席者

委員会の出席者は以下のとおり。

所属	役職	氏名
＜委員長＞		
新潟医療福祉カレッジ	学校長	山田　允宣
＜外部評価委員＞		
特別養護老人ホーム花見の里	施設長	砂井　一哉
岩室リハビリテーション病院	事務長	目﨑　保
＜内部評価委員＞		
新潟医療福祉カレッジ	副校長	星野　哲裕
新潟医療福祉カレッジ	副校長・教務部長	星野　和幸
新潟医療福祉カレッジ	学科長	駒田　彩加
新潟医療福祉カレッジ	学科長	白倉　啓子
新潟医療福祉カレッジ	学科長	堀川　智美
新潟医療福祉カレッジ	事務局長	田家　愛

４．委員会次第

（１）開会

（２）学校長挨拶

（３）出席者紹介

（４）自己評価結果に関する報告及び意見交換

（５）閉会

５．自己評価結果に関する報告及び意見交換について

（１）教育理念・目標・人材育成像等

・「学校へ行くことが楽しくなる学校」をキャッチフレーズにして取り組んでいる

・教員経験が長くなると業界のニーズに鈍感になるため、外部との連携を続けながら教育の質をたもっていきたい

（２）学校運営

・各種規程をしっかり設けている

・ICT 一元管理も検討している

（３）教育活動

・外部との連携がまだまだ弱い

・学校全体のアンケートを実施することで学生の声を聞く体制をとっている

（４）学修成果

（介護福祉科）

・退学者の増加は成績ではなく精神的なものが理由か？

＝＞多くは入学前から何かしらの症状がある学生が多い。成績はフォロー可能

（介護福祉士基礎学科）

・合格率が低いのは語学力なのか？勉強法なのか？

＝＞語学力の問題は大きい。理解することに時間がかかる

（医療秘書科・医療総合科）

・2 年に 1 回の改定時はどのように対応しているか

＝＞年度初めに準備、年度途中の場合はその都度修正

・オンラインの転科はどの学科でも可能か

＝＞可能

・髪色や髪型はどのように指導しているか

＝＞実習、見学は髪色に関して緩くなってきた。就職活動は依然と同様

（社会福祉科・社会福祉専攻科）
・国家試験は全員受験か？
＝＞受験資格が得られた学生は全員受験

（ペットトリマー科）
・何年生の学科か
＝＞2 年制
・医療福祉の現場でペットの分野の授業はあるか
＝＞単発ではあるが常用的には難しい

（オンライン通信科・オンライン通信専攻科）
・オンラインは交流が苦手な学生が多いのか？卒業後の進路はどうか？
＝＞苦手な子が多い。卒業後はパートからを希望する学生もいる。

（５）学生支援
・卒業生への支援体制が課題

（６）教育環境
・食堂はないのか
＝＞ない。パンやお弁当が入ったときもあったが、売り上げがなく撤退している。
当日まで注文可能なシステム導入を検討中。

（７）学生の受入れ募集
・令和８年度の募集は、医療に美容の要素を取り入れて特色を明確化
・次年度は２学科新設学科を準備している

（８）財務
・法人として適切に処理している

（９）法令等の遵守
・個人情報はどのように管理しているか
＝＞アクセス制限をかけている。学生情報については１台のパソコンで管理をしているが、パソコンの寿命もあるので今後クラウド化するか検討中。

（１０）社会貢献・地域貢献
・子ども食堂のニーズはどのようなところにあるのか
＝＞子どももちろんだが、地域連携の場として意味がありそう
・立地が駅前なので、フリースクールなども検討できるのでは？
＝＞以前授業内で支援をしたが長期休みで支援がとまってしまった